

平成22年度 水路技術奨励賞（第25回）

少壮の水路技術者の研究意欲を増進させ、ひいては水路技術の進歩・発展を図るため、昭和61年に「水路技術奨励賞」の基金を設け、毎年、優れた業績を残した方にこの賞を贈っています。

今年度は平成23年1月18日（火）に水路技術奨励賞選考委員会幹事会（浜離宮プラザ会議室）、平成23年1月25日（火）に水路技術奨励賞選考委員会（海事センタービル会議室）において受賞者を選考し、平成23年2月25日（金）水路技術奨励賞表彰式（海上保安庁海洋情報部）において3件12名の方に水路技術奨励賞をお贈りいたしました。また、同日、海上保安庁海洋情報部で開催されました「水路新技術講演会」において、受賞者の皆さんに業績を発表していただきました。

受賞者と題名は以下のとおりです。

（敬称略）

1. 「航走観測の実現による海底地殻変動観測の高度化」

受賞者：外務省在マレーシア日本大使館
海上保安庁海洋情報部技術国際課
海上保安庁海洋情報部海洋調査課
海上保安庁海洋情報部海洋調査課
海上保安庁警備救難部管理課

松本 良浩
佐藤まりこ
石川 直史
齋藤 宏彰
浅倉 宜矢

内 容：海底地殻変動観測の効率化と精度の向上を図り、我が国の地震災害の軽減防止に必要な精度の高いデータの取得を可能にし、地震の調査研究に寄与

2. 「四次元広角映像及び測量用ソナーシステムの開発」

受賞者：(独)港湾空港技術研究所
(独)港湾空港技術研究所
神奈川大学工学部准教授
(株)日立製作所
関東地方整備局東京空港整備事務所

松本さゆり
吉住 夏輝
土屋 健伸
南利 光彦
鈴木 紀慶

内 容：水中映像をリアルタイムに取得し同時に測量を可能にする水中計測システムを開発し、水路の保全に必要なデータの収集などの効率化に寄与

3. 「高精度光学式溶存酸素センサーの実用化」

受賞者：(独)海洋研究開発機構地球環境領域
JFE アドバンテック(株)本社工場

内田 裕
長澤 泰宏

内 容：応答速度の速い光学式溶存酸素センサーとその取得データ補正技術の開発で海水中の溶存酸素量の測定を容易に行えるようにし、海洋における水塊の把握に寄与



受賞者の皆さん

前列左から佐藤さん、[陶理事長、加藤海洋情報部長]

松本さん、土屋さん

後列左から石川さん、浅倉さん、

内田さん、長澤さん、南利さん、鈴木さん